

Since wars begin in the minds of men, it is in the minds of men that the defences of peace must be constructed.  
 戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない。（ユネスコ憲章前文より）



# 鎌倉ユネスコ

会報  
第120号

題字：平山都夫 初代会長

1989年6月創刊 特定非営利活動法人 鎌倉ユネスコ協会 会長広瀬晴子

発行部数600部 発行・理事長長嶋裕子：事務局〒248-0012鎌倉市御成町11-2ヤノヤビル2F

【編集部】長嶋裕子、小川研一、新倉恒章、青山陽子 URL <https://kamakura-unesco.com> E-mail [info@kamakura-unesco.com](mailto:info@kamakura-unesco.com)



目次	1ページ 表紙 法人会員一覧	6ページ 絵で伝えよう！絵画展受賞作品
	2ページ 会長・理事長 新年ごあいさつ	7ページ 鎌倉ユネスコ協会感謝の集い
	3ページ 描いていますか？佐藤美智子	8ページ 各委員会活動
	4ページ 山本雪江さん追悼の記	9ページ シルクロード美術館バスツアー
	5ページ 各委員会活動	10ページ 法人会員新年ごあいさつ

このたびの能登半島地震でお亡くなりになられた方々に哀悼の意を捧げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。鎌倉ユネスコ協会では、1月23日、24日11時～14時、鎌倉駅東口駅前支援の為の募金活動を行います。

## 新年のごあいさつ

会長 広瀬晴子

皆様、新年おめでとうございます。

昨年は、侍ジャパンがWBCで米国を破り優勝する明るいニュースからスタートし、大谷翔平選手の大活躍、藤井聡太棋士が史上初の8冠を達成するなど若者の活躍が目立ちました。

また、新型コロナウイルス感染症は5月から「5類」に移行され、旅行業等はコロナ前の水準に回復するなどアフターコロナの時代に入りました。

一方世界に目を向けるとロシアのウクライナ侵攻による戦闘が長引く中、



イスラエルとパレスティナの戦闘が勃発し、凄惨な状況になって来ており、それらの影響もあって、今や世界の多くの国々が、エネルギー、食糧問題をはじめとした深刻な経済・社会的困難に直面し、また気候変動による自

然災害も頻発し、その対応に苦慮しています。日本の状況も政治・経済共にあまり明るいとは言えません。

そんな中、地道に活動をつづけ、地域の平和を目指す運動に活躍している鎌倉ユネスコの皆さんには敬意を表します。今年が明るい年になるように、ささやかとはいえ着実な歩みを続けるなどユネスコ活動を盛り上げていきましょう。



## 新年のご挨拶

理事長 長嶋裕子

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。昨年7月に理事長の任務を小川前理事長から引き継いでから半年が過ぎましたがその間の皆様のご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

鎌倉ユネスコの活動も徐々にコロナ以前に戻りつつあり、コロナ禍で中止せざるを得なかった催しも次々に再開されて、長く会えなかった友人と再会して交わす何気ないおしゃべりや笑顔がこんなにも心温まるものだったかと気づかされる毎日です。これもコロナ禍を経験したからこそその気付きではないかと思われま

す。昨年11月に高徳院大仏殿で開催された「国際交流フェスティバル」の開会セレモニーでご住職の佐藤孝雄様が次のように語られました。「高徳院の境内には1991年に建立された顕彰碑があります。その碑にはスリランカ国の元大統領ジャヤワルダナ氏の言葉が刻まれています。『人はただ愛によってのみ憎しみを越えられる。

た。どちらの戦いも憎しみの連鎖です。無辜の命が無残に失われていく報道を目にする度にユネスコが目指す「世界平和」が遠のいていく現実にはいたたまれない気持ちになります。しかし今私たちにできる何かがあるはず



です。昨年11月に高徳院大仏殿で開催された「国際交流フェスティバル」の開会セレモニーでご住職の佐藤孝雄様が次のように語られました。「高徳院の境内には1991年に建立された顕彰碑があります。その碑にはスリランカ国の元大統領ジャヤワルダナ氏の言葉が刻まれています。『人はただ愛によってのみ憎しみを越えられる。

人は憎しみによっては憎しみは越えられない。(法句経5)』—ジャヤワルダナ氏はサンフランシスコ講和会議において日本に対するスリランカ国の賠償請求の放棄を宣言された方です。私たちは平和が脅かされている今まさにこの言葉を思い起こし、ジャヤワルダナ氏が伝えている愛の大切さを民間の国際交流を通して世界に示してしていくことが大切であると思います。」

鎌倉ユネスコは「人の心の中に平和の砦を築く」という目標をもって長年活動を続けてまいりました。そしてその中で培った信頼という宝物を大切にして、これからも鎌倉から世界に平和の心を伝えるために一丸となって活動していきたいと思

います。今年も皆様と様々な活動の場でお会いできることを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

## 「描いていますか？」

これが平山郁夫先生にお会いした時、常に先生から発せられる第一声。久々にお会いした時でも「こんにちは」のお言葉もなく、いきなり「描いていますか？」だけのお一言。このお一言は日本画の手ほどきをいただいた生徒としては誠に恐ろしい御挨拶でした。また一方、先生の画家としての気概、画家魂を強く感じたものでした。



### 鎌倉婦人子供会館

私は第一子を育児中の26歳の時、初めて先生の絵画教室に入門しました。当時、先生は31歳。石草流華道創始者の岩田清道女史が前田青邨画伯から「今はまだ無名だが将来日本の画壇を背負って立つ人ですよ」と紹介されて鎌倉婦人子供会館で開かれた日本画教室。その時、5~6人の生徒の一人として入会したお教室に初めて現れた平山先生はとても細っそりなさった好青年。いただいたお名刺には「東京芸術大学日本画教室助手」と書かれていました。

今でも初めての日本画教室の日を鮮明に思い出します。第一回目の授業は墨絵の“四君子”の竹から始めら

れました。先生が描かれた竹をお手本にいきなり色紙に竹を描かされたのですが、戦後GHQから書道も禁止されていた時代に育った私は筆を持つのも初めて。その上、素敵な先生を目の前にして私はすっかり上がってしまい、竹の小枝がへびの様に曲がってしまいました。私は真っ赤になりながら先生にお見せしたのですが、先生は「大丈夫ですよ」とその曲がったへびの小枝の上にさっと竹の葉を描いて隠してくださったのです。私はなんとお優しい先生かと、ただただ感謝したことを今でも鮮明に思い出します。



### 指導当時の故平山画伯

その後しばらくして先生は第一回ユネスコフェローシップ生としてヨーロッパに留学なさり、お教室は芸大の同輩に後を託されたのですが、このお教室は婦人子供会館からホテルオークラに移り、現在は新橋駅前5代目の先生を迎えてずっと続いています。

1972年(先生42歳)、先生が成増から鎌倉に居を移されてからは先生にお会いできる機会が増え、私は幸せを一杯頂きました。二階堂の平山先生宅には国内外からお客様が頻繁に訪れられるのですが、その都度、何の前触れもなくいきなり先生から「これから伺いますのでよろしくお願いします」のお電話があり、お客様を大佛様前にお連れになられ、参拝後は必ず書院でごゆっくり歓談なさるのが常でした。

1995年に先生の文化勲章受賞祝賀会が市主催で開催されたのですが、その席上「先生を囲む鎌倉の会」が結成され、その場で私が会長に推されたのですが、この会は先生がお亡くなりになるまで続けられました。当初から小川研一氏、故蓼沼誠一氏(当時鎌倉美術家協会会長)、福田六郎氏等が中心になり会員の方々を奈良の薬師寺や瀬戸田の平山美術館等々、先生にゆかりのある場所に何度かお連れ致しました。また、会員の多くが何としても鎌倉に平山郁夫美術館をと願っていたのですが、力不足で実現できなかった事は今でも悔やまれます。

平山先生が御逝去されてもう14年。先生が提唱された文化財赤十字運動も今や世界のあちらこちらで起こっている紛争でどうなるのか心配になる昨今ですが、先生がUNESCO親善大使として願った世界平和が、一日も早く実現できる日が来るよう私達も努力しなければと思いを強くしています。(佐藤美智子)

アピセラピーを追究する。

山田養蜂場

YAMADA BEE FARM

〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場194

TEL : 0868-54-1971

URL : <https://www.3838.com>

開業120周年

江電



## 惜別

## 山本雪江さん追悼の記

尾花珠樹

昨秋、鎌倉ユネスコの法人賛助会員として長年ご協力いただいている麓技研(株)代表の山本直行氏から「雪江は7月24日、僕の腕の中から旅立ちました。この日が47年前の1976年、パリ東駅のプラットフォームで二人が再会し、結婚記念日とした日でもありました」との悲痛な書簡をいただきました。

直行氏の夫人、雪江さんは、国際キリスト教大学卒業と同時に、1974年私が在職していた日本ユネスコ協会連盟(以下、日ユ)事務局の職員に採用され、以来、半世紀近い歳月の深い交わりをいただいで参りました。

1988年にお二人がお住まいを葉山に移されると共に、鎌倉ユネスコにご入会くださり、雪江さんは3年前から鎌倉ユネスコ理事としてご活躍さなかの突然の訃報でした。

顧みると、雪江さんが日ユに就業なさった1974年は、日ユがパリのUNESCO本部から期待されて、アジア地域の民間ユネスコ運動に呼びかけてアジア・ユネスコ協会連盟(AFUGA)設立総会を日本で開催する年でした。そのため雪江さんには入局早々にも拘わらず、事務局国際部のスタッフとして働いていただきましたが、そのお人柄と語学力で、参加者から大好

評を博したものでした。

1976年に直行氏とご結婚、その後、ご子息誕生で日ユを退職なさった雪江さんでしたが、子育てに目途がついた1997年から亡くなる前年の2022年12月迄の25年間は、JICAが日本に招聘する海外研修生グループのコーディネー



ターとして再びご活動。

そのお忙しい最中でも雪江さんには参加なさり、会員との交流を絶やされることなく、続けておられたのでした。

数年前、鎌ユが実施したウズベキスタンへのスタディツアーにもご参加。その旅の一つのエピソードでも、私たちは雪江さんのお人柄再確認の素敵なシーンに出会いました。というのはウズベクの或る都市の外観は実に堂々としたホテル

に到着した折、参加者一同、ホテルの支配人から使い古された小さなタオルを一枚ずつ支給されたのでした。何とホテルの各部屋には備品としてのタオルは全く用意されていないのでした。シャワーのお湯も水同然。

翌朝、食堂に集まった参加者から、ブーイングの音が交わされていた折、「でも、ソ連時代のホテルの在りようを体験できたと思えばいいんじゃない・・・？」と、声をかけたのが雪江さんでした。物事あるいは人を、そしることを全くなさらなかった雪江さんの口から、ごく自然に出たユーモアも含んだ言葉に、同席していた私の夫は感服ひとしおと語っていました。

この稿を草するにあたり、傷心傷悴いまだ回復なされず、電話にも出られずにいるとおっしゃる直行氏に取材をお願いし「夫君として雪江さんを表現なさるとどういう女性でしたか」と伺いました。「春の陽光のような人でした。知性と包容力、やさしさを同時に持ち合わせた爽やかで芯の強い人でした」と語る国際的に著名な発明家で同時に芝山悠平のペンネームでエッセイストとしてもご活躍の直行氏目から、この時一筋、キラリと涙が頬を走るのでした。

鎌倉建長寺内の妙高院に建立の雪江さんの墓碑には、ふさわしい自然石に「風」と刻まれている。

享年73 《合掌》

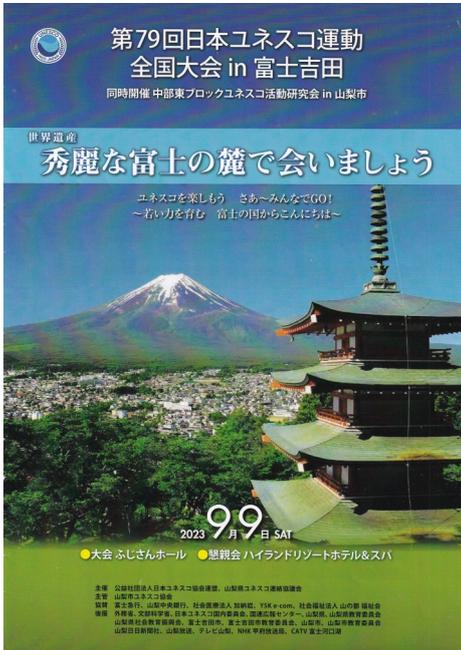
井上蒲鉾店

就労継続支援B型 20th Anniversary  
 特定非営利活動法人 地域生活サポート まいんど  
 esamis  
 GALLERY&CAFE JO ジョック & 豆の蔵  
 ふれんず mira tane  
 まいんどは地域に住む障害のある方の生活や就労等の相談やお手伝いをするNPOです

## 第79回日本ユネスコ運動

### 全国大会in富士吉田

今年の全国大会は9月9日(土)に山梨県富士吉田市のふじさんホールにて開催、当協会から広瀬会長、長嶋理事及び下名が参加した。



とで世界中のみんながハッピーとなるようなことをしましょう、と呼び掛けた。会場出席のパネリストである山梨県の高校代表の3人はいずれもその提案に賛同すると共に、自分の学校で進めているウクライナ難民支援やこども食堂の活動をし合い、それぞれの高校生達が色々と自発的に社会に役立つと努めていることを非常に頼もしく思った。

最後に、次回開催の新居浜ユネスコ協会への引き継ぎ式をもって、今回の大会も成果多く終了となった。

(石田喬也)

### モロッコ大地震緊急支援募金活動

2023年9月8日深夜、モロッコ中部8世界遺産マラケシュ=サフィ地方)でマグニチュード6.8の大地震が発生した。死傷者は1万人近くにのぼり5万棟の住宅が被災した(9月16日現在)。公共インフラや道路・通信網は甚大な被害を受けてい



募金活動を行った。鎌倉ユネスコ協会、役員延べ40名の参加を得、街頭での多くの皆様のご協力のお蔭で募金活動は無事終了した。関東各地から修学旅行で来ていた小学生たちからの温かい気持ちと笑顔で募金箱が一杯になった。

1日目111,295円、2日目72,474円、3日目75,281円、合計259,050円を全額モロッコ大使館に届けた。



大使館を通して被災した教育機関に支援される。ご協力いただいたすべての皆様に感謝。

(長嶋裕子・小川研一)

勇壮な「紅富士太鼓」のオープニング演奏で始まった開会式の後の記念講演では、「浮世絵デジタル化」日米共同プロジェクトに関わられた牧野健太郎氏が、「葛飾北斎「富岳三十六景」等の浮世絵にこめられた江戸庶民の文化や生き生きとした生活ぶりがデジタル化によって蘇った、と細部にわたり解説された。

続けての「ユネスコの今と未来」パネルディスカッションでは、最初にオンライン参加した松山東高校2年の兼道玄さんが地元の海岸清掃等のボランティア活動をリードしたことがきっかけとなって海外の高校生とも交流を持つ機会等を得たことで、自分がしたこ



る。復旧作業が順次進む中、被災された人々の安全と安心を確保することは急務であり、救援物資等の支援は必須である。被災に遭われた全ての人々に思いを馳せ、一日も早い復旧復興を祈念し、鎌倉ユネスコ協会として支援のため10/30~11/1、鎌倉駅東口駅前

鎌倉から世界へ  
出版から明日を創る。

かまくら春秋社

248-0006鎌倉市小町2-14-7 Tel0467-25-2864

日本のナショナルトラスト団体第1号  
公益財団法人 鎌倉風致保存会

248-0011鎌倉市扇ガ谷4-29-1

TEL0467-23-6621 FAX0467-23-6631

E-mail fuhchi@fsinet.or.jp

みどりのボランティアと一緒に汗を流しませんか！

## 絵で伝えよう！わたしの町のたからもの2023年いつまでも住み続けられる町であるために（SDGs）

2023年度の絵画展は小学校17校から154点、中学校3校から130点、合計で284点の作品の応募があり、12月2日の審査会で小学校98点、中学校61点の合計159点の作品を12/23～12/25、鎌倉生涯学習センターギャラリーで展示することにした。すべての応募作品を展示したかったが、会場のスペースから判断して展示作品の選考をした。また、鎌倉市長賞には 御成小学校3年・青木りらさん、鎌倉市教育委員会賞には御成中学校1年・佐藤遥さん、日本ユネスコ協会連盟会長賞には大船小学校5年・上田綾乃さん、鎌倉ユネスコ協会会長賞には大船小学校1年・鐘ヶ江悠人さんの作品を選ぶとともに、優秀賞として8点の作品を選んだ。受賞作品は、12/26～1/4まで鎌倉駅地下通路ギャラリーで展示。受賞した作品は次の通り。

（伊藤正博）

鎌倉市長賞



「宝石」

青木りら

御成小学校3年

鎌倉市教育委員会賞



「ある日の浄智寺」

佐藤遥

御成中学校1年

日本ユネスコ協会連盟会長賞



「受け継がれてきた鎌倉彫」

上田綾乃

大船小学校5年

鎌倉ユネスコ協会会長賞



「トンボのいる里山」

鐘ヶ江悠人

大船小学校1年

優秀賞



「太陽から月のバトンタッチ」

浮田愛

鎌倉女学院中学校1年

優秀賞



「夕焼けの江ノ電」

浅田ひかり

七里ガ浜小学校2年

優秀賞



「光る夕日」

川合心美

第一小学校4年

優秀賞



「幸せ祈って」

江川実優

岩瀬中学校3年

優秀賞



「みんなであそぼう！広町りょくち」

森竹すみれ

深沢小学校2年

優秀賞



「おいでよ鎌倉」

宮下こまち

今泉小学校5年

優秀賞



「ライトアップされただいづつ」

熊倉莉良

御成小学校5年

優秀賞



「竹やぶからのぞく長谷寺」

高原英里奈

第一小学校6年

## 鎌倉ユネスコ協会・感謝の集い

鎌倉ユネスコ協会創立35周年を記念し、当協会発足以来、長年にわたり当協会活動に関与され多大な貢献・寄与された佐藤美智子前会長、尾花珠樹前副会長をお招きした感謝の集いを2023年9月29日鎌倉パークホテルで開催。会員役員約70人参加。鎌ユ会員多士済々、旧交を温めた。なお司会は青山陽子理事が務めた。



佐藤美智子前会長、尾花珠樹前副会長のお二人は、当協会発足から今日に至るまで長年にわたり当協会活動に関与され、現在の鎌倉ユネスコ協会の礎を築かれた。そのご尽力により当協会は全国のユネスコ活動の中でも卓越した存在として、またユネスコ活動のモデルとして高い評価を受けている。こうしたことはひとえにお二人がユネスコの精神を次代へ引継ぎ、平和な社会を目指そうとする熱意によるご指導の賜物である。



聡明で包容に満ちた佐藤美智子さん。しなやかなリーダーシップ、いつでもどこでも皆様の視線の先には佐藤美智子さん。高德院大仏殿に集う参拝客や賓客を接待され、再訪を願わずにはいられないおもてなしの繁忙を担われる。30年前、鎌倉市の姉妹都市提携関係審議会（商工会議所、観光協会、警察、学識他の有識者委員）で初めてお目にかかる。佐藤美智子さんが着席と同時に会場が急に明るくなり華やかになる。美しく気品にあふれ輝くオーラをいつも発している。



そして見事な距離感を保ち佐藤会長の近くにおられ美しく明晰な光を発し、ユネスコ活動の本分を体現され、礼法に長じられ楚にして凜とした尾花珠樹さん。鎌ユ立ち上げからのご尽力、ユネスコ活動に関わり70余年、世界平和の実現に奔走される。2001年、アフガンバーミヤン遺跡をタリバンが破壊した折、世界遺産破壊抗議声明を出すよう故平山郁夫鎌倉ユネスコ初代会長、でありUNESCO親善大使であられた平山氏を説得する尾花珠樹さんに会長宅で初めてお目にかかる。（小川研一）

### 料理を通して国際理解・エクアドル編

7月14日に鎌倉福祉センター2F 調理室にてエクアドル料理講習会を実施。



出席会員11名、会員外10名、エクアドル大使館4名の25名での調理講習

会でした。

お母様がエクアドル人の大使館の方で、料理本を翻訳されたり、講習会を催されている方がお料理の指導をして下さり、大使夫人はそれを見守り、公使は講演をして下さり、執事はパソコンの操作をしてくださいました。

エビの酢の物はエクアドルから輸入されているパナメイ海老を利用、サツとゆでてトマトと、紫玉葱を加え、たれ

はオレンジジュースとレモン汁とユ

ニーク。ポップコーンと頂くのがエクアドル風。魚のココナツミルク煮はご自慢のココナツに味をしみこませたメカジキと野菜で煮込む。ヤピンガチョはマッシュポテトにパプリカと長ネギを混ぜ団子にして中にチーズを入れ、こんがり焼き、ピーナツソースをかけて頂く。飲み物としグアユサの葉を乾燥させた木の葉を煎じて頂く、チョコレートはビター味。じゃがいも、ピーナツ、カカオはアンデス原産、エクアドルバナナを利用するお料理が多いが、入手が不定期なので泣く泣く避けました。食後は着任間もない公使にお話しを伺う。エクアドルは赤道直下にありながらも山々には雪が積もり、本土から1000km離れた太平洋にダーウインの進化論で有名になったガラパゴス諸島がある。寒流フンボルト海流のお陰で気候的には涼

しい。

ユネスコ自然遺産が合計5ヶ所ある。人種は先住民とスペイン人の

混血が7割を占め、アフリカから来た人々も多い。言語は主にスペイン語、宗教はキリスト教。タグアという椰子の実を乾燥させたものはプラスチックのように固くなり、ボタンやアクセリーになる。御土産にビターチョコレートを頂く。講師が翻訳されたエクアドル料理本もお持ちくださった分は売れて別途注文があり、喜ばれました。よかったです。お若い大使夫人、張り切り公使、講師、皆様素敵な方で学びの多い楽しいエクアドル料理講習会でタウンニュースさんによる取材もありました。（奥山誼子）



## ビーチコーミング

10月19日（木）、鎌倉女子大学中等部1年生の校外学習として、由比ガ浜海



岸でビーチコーミングを行いました。今年は新企画として漂着物でサンドアートを制作しました。作品はどれも力作ぞろいで、生徒たちの感性に感心しました。また、ビーチコーミングに先立ち、鎌倉女子大学岩瀬キャンパ



スにおいて、9月21日に当協会の小島政行さんと七里ガ浜高校出身で大学生の坂口心菜さんが海洋プラスチックごみやファッションロスについて、9月28日には日本気象環境機関の井手迫義和さんが地球温暖化と海洋生態系について出前授業を行いました。

（小池 治）

## かまくら国際交流フェスティバル

11月5日（日）朝8時に高德院の駐車場に着いてみるとユネスコメンバーの列。新メンバーもやる気満々！荷物もあっという間に準備が整い、販売開始。好天の中ブースをたずねる参拝者も途絶えることもなく外国の方も次々と買ってくださった。日本人形も大きい羽子板もほぼ完売。観光客のパワーに圧倒された。残念だったのは場所がなくて広げられなかったこと。着物と民族衣装を売るにはもっと工夫する必要がある。実行委員会5回集まっただけのイベントも裏方仕事が



しっかりしてたので、助けられた。売り上げは104,300円、バザースタッフ32名であった。（植木典子）

## モロッコの地震経験とそこからの学び

2023年9月8日の23時11分、地震の揺れで目を覚ました。地震が多い日本で暮らしてきたため、建物が揺れること自体には慣れているが、日本ではなくモロッコでとなると話は別だ。この日、私は、大学の講義科目の一環として、14名の学生たちと共にモロッコの首都ラバトに滞在していた。それにしても、揺れが長い。日本での経験から、震源からは遠そうだが、相当大きな地震ではないかと直感的に感じていた。

揺れは間もなく収まったが、地震などめったに経験しないモロッコである。滞在先の大学の寮では、ちょっとした騒ぎになっていた。すぐに、学生たち全員の安全を、同行していたティーチングアシスタント共に確認す



ると、幸いにして全員無事であった。ウェブサイトの情報収集を行うと、震源地はマラケシュの近くであること、震源近くでは相当の被害が出ていることが伝わってきた。危機管理用に事前に作成していた保護者たちとの連絡ネットワークに、学生たちの無事、大使館との連絡状況などを報告した。

14名全員がモロッコもアフリカ大陸も初めて。大学でも、街でも、多くのモロッコ人に歓迎され、彼らの親切を日々感じながら過ごしてきたモロッコを襲った惨劇だった。だから今回の経験は学生たちにとっても大変心に残る出来事となった。地理的な距離を超え、モロッコの人々との心のつながりを感じ始めていた矢先に起きた出来事だった。「地球市民学科」という日本で唯一の学科に入学し、勉強を続けている意味について、改めて考える機会となったようだ。

同じ地球に暮らす人間同士。困難な時ほど、お互いに手を差しのべられるかが問われる。この地球に暮らすすべての人のことを思いながら、心には常に平和の砦を築いていきたい。

（山本達也）

## 書き損じハガキ

14枚の書き損じハガキでカンボジアでは1ヶ月学校に通えます。

鎌ユでは今年度は日ユ連盟に17,088円寄託いたしました。全国日ユ総計は4238万円。一枚一枚の書き損じハガキが大きな大きな支援に繋がっています。今年度、鎌ユ独自の新たな活動を始めました。外貨コイン・使用済み切手・ベルマーク等の回収を開始し、市内各生涯学習センター・社協各施設・NPO等でも書き損じ回収BOXに追記載して設置いたしました。

た。外貨コインは佐藤美智子前会長はじめ多くの方々からご寄付いただき、日本ハビタット協会へ全て寄付いたしました。ケニアのトイレ作りに活かされます。使用済み切手は日本キリスト教海外医療協会へ、ベルマークはベルマーク教育助成団体へ、有効に活用されます。眠っている外貨コインなどありましたらよろしくお願ひします。（小倉寛子）



## 料理を通して国際理解・モロッコ編

11月16日、福祉会館調理室にてモロッコ料理を作り、試食し、モロッコについて学ぶ。出席者は大使館3名、会員8名、リピーター4名、初参加10名の25名で、初参加の方々は初掲載タウンニュースを見ての申込が多く、鎌倉朝日の案内を御覧の方も。



料理指導は大使付きコックさんのシャディア・カーメルさん。

シャディアさんはアラビア語の為、彼女の説明を文化担当参事官のズバイダ・クレイマーさんが英語に訳し、大使補佐の小和田さんが日本語に。食材はすべてシャディアさんが準備、当日朝、調理室にて豪快に5等分にする。メニューはチキンレモン・タジン、ハリラスープ及び人参サラダ。タジンは鍋のことでタジンでつくる食べ物もタジンと言う。

チキンレモン・タジンは鶏肉に塩レモンの果肉を含む香辛料を摺り込ませてしばらく置く。鍋に玉ねぎ、香辛料、オイルなどを加え煮込み、玉ねぎが柔らかくなった時点で鶏肉を加えゆっくり煮込む。ソースを煮詰め塩レモンの皮とオリーブを加え完成。柔らかく、香辛料の良い香りのチキンが美味でした。ハリラスープは断食明けにまず頂くスープで牛肉にひよこ豆、レンズ豆などを加え、具たっぷりのトマト風味のスープ。小麦粉でとろみをつける。出汁は牛肉だけでも多々の香辛料でおいしいお味で何杯でも頂けるスープ。モロッコ風は器にたっぷりよそうこと。人参サラダは大きいニンジンの中心部を外して、まわりの柔らかい部分だけを茹でる。スパイ

スの効いたドレッシングをサッと煮て茹でニンジン絡める。茹で人参サラダははじめてで、大変美味しかったです。中心部を取り除く発想は有りませんでした。

食後はお持ち頂さったモロッコクッキーを頂きながらモロッコについてクレイマー参事官がパワーポイントとDVDを利用してお話くださる。利用された映像は著作権が有るため鎌倉ユネスコのホームページから観れるようクレイマーさんが編成して提供して下さった。是非ホームページをご覧ください。（奥山誼子）

## 飛んでシルクロード 世界の多様性を迎えるバスの旅

### “平山郁夫 遺跡を描く 中近東から地中海へ”ハケ岳美術館の訪問

11月下旬の澄んだ柔らかい朝の日差しも心地よく、鎌倉を発った30名の美術館見学隊は、標高1000メートルのハケ岳の美術館に昼過ぎ到着した。時雨の中、傘を差したスタッフ総出の歓迎に身も心も温まる。

荘厳さが漂う仏像のコーナーに招かれると、まず、模写に勤しむ故平山画伯の元お弟子の姿が目に入る。学芸員さんの解説で、昨年来、中国各地を巡った展覧会から里帰りしたばかりのガンダーラの石仏や中央アジアの金属の仏像の面々と向かい合った。オリエントの馴染みある顔立ちあり、オクスダントの彫の深い風貌ありと、シルクロードの仏像たちを一堂にこれほど間近に観ることができるのは、ここをおいて他にはないだろう。

続いて、古代ギリシャ美術の専門家である平山東子館長によるご案内で、ギリシャ・ローマのコレクションへ。古代の人々の暮らしぶりが生き生きと描かれたアテネ出土の酒壺や水差し、色鮮やかなモザイクガラスなどを

生活文化や精神性の視点から丹念に解説され、美術品のもつ深淵な世界の一端に触れることができた。

膨大なコレクションを前にわずか2時間余りの滞在であったが、専門家によるレクチャーという贅沢なひとときであった。



その余韻に浸りつつ、気づけば湘南海岸を走る帰途の車窓からは、古代の人々も眺めたであろう十六夜の月がためらいがちに姿をみせている。

昨年、中国の展覧会の折に、東子館長は「開催を通じて日本と中国の間を人、物、文化が行き交う。展覧会は職人たちが梱包技術や運送方法など道具や技術も交換している現代の“文化のキャラバン”」と語っている。

このたびハケ岳を訪問して、平山画伯の果たした日本と中国・諸外国との友好の偉業にあらためて思いを深め、他者を尊重する異文化交流のもつ重みを実感した。

翻って、現実の世界では国際法や西側の価値観が届かない何ともむなしい侵攻や紛争が拡大している。

広瀬会長は、「ユネスコの理念と現実の世界をどう結び付けるかが課題」と投げかけた。今後、市民が振り向きづきのある次なる一手を考えなくてはなるまい。

“どうする？ユネスコ！”

（青山陽子）

## 新入会員紹介（敬称略）

坂口賢三、金山重之、内田由史、児玉文彦  
ラウド・アンセル、前田幸康、永井健一

## 事務局だより

◆9月定例理事会（9/17）◇絵画展参加賞としてクリアファイルを作成◇鎌倉ユネスコ協会創

立35周年記念・佐藤美智子前会長、尾花珠樹前副会長の感謝の集いを開催（9/29）◆10月定例理事会（10/15）◇科学環境委・三殿台縄文遺跡と神奈川県埋蔵文化財センター見学会（10/14）実施・ビーチコーミングを由比ガ浜海岸で鎌倉女子大中等部対象に実施（10/19）◇モロッコ大地震復興支援募金活動を鎌倉駅東口で実施（10/30～11/19）総額259,050円をモロッコ大使館に寄託（11/29）◇国際交流委・モロッコ料理教室（11/16）を実施

◇識字委・鎌倉国際交流フェスティバル（11/5）にバザーで参加◆11月定例理事会（11/19）◇ハケ岳平山郁夫シルクロード美術館へバスツアー（11/28）参加者30名◆12月定例理事会（12/17）◇青少年委・「私の町からの絵画展」（12/23～12/25）を鎌倉市生涯学習センターギャラリーで開催、その後受賞作品は鎌倉駅地下通路ギャラリーで（12/26～1/4）展示。（新倉恒章）



## 2024年謹賀 本年も宜しくお願い致します 鎌倉ユネスコ法人会員ご挨拶(順不同)

株式会社御代川

株式会社博古堂

清興建設株式会社

鎌倉大仏殿高德院

有限会社ナカムラ生花

株式会社神中運輸

麓技研株式会社

アスラン鎌倉店

株式会社山田養蜂場

株式会社信光社

清泉小学校

石井印刷株式会社

MAKOTO税理士法人

株式会社かまくら春秋社

北鎌倉女子学園中学校高等学校

神奈中観光株式会社

地域生活サポートまいんど

有限会社絲綱社

鎌倉パークホテル

株式会社豊島屋

大塚オーミ陶業株式会社

鎌倉ビール醸造株式会社

江ノ島電鉄株式会社

株式会社井上蒲鉾店

鎌倉女学院中学校高等学校

株式会社斉藤建設

大塚製薬株式会社横浜支店

鎌倉プリンスホテル

株式会社鎌倉紅谷

華正樓鎌倉店

株式会社アペックス

株式会社鎌倉ハム富岡商会

株式会社鎌倉アソシエーツ

鶴岡八幡宮

株式会社セラリカNODA

### 特別協賛法人

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社